

# 2024年度 教科シラバス

## 中学3年

### 目次

国語 (S 特選) . . . . .	2
国語 (特選) . . . . .	3
国語 (書写) . . . . .	4
社会 (S 特選) . . . . .	5
社会 (特選) . . . . .	6
数学 (S 特選) . . . . .	7
数学 (特選) . . . . .	8
理科 (S 特選) . . . . .	9
理科 (特選) . . . . .	10
音楽 . . . . .	11
美術 . . . . .	12
保健体育 . . . . .	13
技術・家庭 . . . . .	14
英語 (S 特選) . . . . .	15
英語 (特選) . . . . .	16
英語 (特選 GL $\alpha$ ) . . . . .	17
英語 (特選 GL 一般) . . . . .	18

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
中学3年	国語	国語① 国語②	S特選	5	『伝え合う言葉 中学国語3』『基礎の学習』『国語便覧』 『体系古典文法』『体系古典文法学習ノート』『古文単語315』 『基本セミナー 漢文入門』『書いてマスター常用漢字』『近現代文学名作選』『新中学問題集』『現代語練習帳 ことのは』

教科・科目の概要と目標	学習方法と流れ
<p>1. 様々な文章への理解を深め、その内容に対する自分の考えを表現できるようにする。</p> <p>2. 作品から学んだこと、考えたことを他の事象に生かす応用力をさらに伸ばし、国語を尊重する態度を引き続き育てる。</p> <p>3. 古典の文章を読み、その内容を正確に把握すると共に、時代背景や作者の当時の境遇等にも理解を広げる。</p> <p>4. 古典の文章について、正確に把握した内容を踏まえて暗唱し、自国文化を継承していく自覚を深める。</p> <p>5. 高校へのブリッジ段階として、大学入試問題への取り組みや古典文法や文学史の基礎等、先取り学習を行う。</p>	<p>【日々の学習について】シラバスやTQノートを参照し、単元の予習・復習を行うこと。</p> <p>1. 教科書の単元については、内容を細部まで理解した上で作品及び著者の主張に対し、はっきりした意見を持つ。(予習)</p> <p>2. 教科書準拠問題集や『国語便覧』を活用し、作品の裏にある深いテーマに迫り、作品世界をより身近なものとして捉える。(予習)</p> <p>3. 小説は「あらすじ」を、説明文は「要約」を自らの力で行えるようにする。(復習)</p> <p>4. 『基礎の学習』の該当ページを解き、単元の理解を深める。(復習)</p> <p>【小テストについて】</p> <p>1. 漢字・文法・古語・語彙などの知識問題等に関して、適宜小テストを実施する。</p> <p>【課題について】</p> <p>1. 主に、長期休暇中に『新中学問題集』を課す。</p> <p>2. 上記以外にも課された課題は必ず提出すること。</p>

	I学期始め～I学期中間	I学期中間～I学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進捗	<p>①【現代文】「初恋」「私」 【読書課題】「黄金風景」・「神様」(※現代文学名作選より)</p> <p>②【文法】古典文法(歴史的仮名遣い・品詞) 【古典】文学史・古典常識・古文読解(新中学問題集より)</p>	<p>①【現代文】「AIは哲学できるか」・「セメント樽の中の手紙」※ 【読書課題】「科学の扉をノックする」・「よだかの星」※</p> <p>②【文法】古典文法(動詞の活用/係り結び) 【古典】「和歌の調べ」他(暗唱含む)</p>	<p>①【現代文】「async-同期しないこと」「問いかける言葉」「薔薇のボタン」 【読書課題】「日本人はなぜキツネにだまされなくなったのか」・「沈黙」※</p> <p>②【文法】古典文法(用言) 【古典】「奥の細道」</p>	<p>①【現代文】「最後の一句」「青春の歌」他 【読書課題】「高瀬舟」「阿部一族」</p> <p>②【文法】古典文法(用言・副詞) 【古典】「奥の細道」他(暗唱含む)</p>	<p>①【現代文】「俳句の味わい」「故郷」他 【読書課題】「藤野先生」「狂人日記」・「おきみやげ」※</p> <p>②【文法】漢文基礎(訓点・書き下し文・再読文字) 【古典】「漢詩」(暗唱含む)</p>

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	<p>①社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けている。(現代文分野・古典分野)</p> <p>②日本の言語文化に対する理解を深めることができている。(現代文分野・古典分野)</p> <p>③日本の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができている。(古典分野)</p> <p>④読書に親しみ自己を向上させようという意識が見られる。(現代文分野)</p>	<p>授業内小テスト(漢字・語句・現代文単語・古文単語・古典文法・漢文句形・漢文語彙、書写等)</p> <p>定期考査</p>
思考力 判断力 表現力	<p>①論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力が伸長している。(現代文分野・古典分野)</p> <p>②他者(作品)との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。(現代文分野・古典分野)</p> <p>③論理的、批判的に考える力が伸長している。(現代文分野・古典分野)</p> <p>④創造的に考える力を養うことができる。(現代文分野・古典分野)</p> <p>⑤古典を通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。(古典分野)</p>	<p>定期考査</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>①言葉がもつ価値に対する認識を深めようとしている。</p> <p>②読書に親しみ自己を向上させようという意識が見られる。</p> <p>③日本の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉をとおして他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。</p>	<p>課題(国語・書写・読書に関するもの含む)</p> <p>グループワークまたは個人ワーク</p>

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
中学3年	国語	国語① 国語②	特選	5	『伝え合う言葉 中学国語3』『基礎の学習』『国語便覧』 『体系古典文法』『体系古典文法学習ノート』『古文単語3』『基本セミナー 漢文入門』『書いてマスター常用漢字』『近現代文学名作選』『新中学問題集』『現代語練習帳 ことのは』

教科・科目の概要と目標	学習方法と流れ
<p>1. 様々な文章への理解を深め、その内容に対する自分の考えを表現できるようにする。</p> <p>2. 作品から学んだこと、考えたことを他の事象に生かす応用力をさらに伸ばし、国語を尊重する態度を引き続き育てる。</p> <p>3. 古典の文章を読み、その内容を正確に把握すると共に、時代背景や作者の当時の境遇等にも理解を広げる。</p> <p>4. 古典の文章について、正確に把握した内容を踏まえて暗唱し、自国文化を継承していく自覚を深める。</p> <p>5. 高校へのブリッジ段階として、大学入試問題への取り組みや古典文法や文学史の基礎等、先取り学習を行う。</p>	<p>【日々の学習について】シラバスやTQノートを参照し、単元の予習・復習を行うこと。</p> <p>1. 教科書の単元については、内容を細部まで理解した上で作品及び著者の主張に対し、はっきりした意見を持つ。(予習)</p> <p>2. 教科書準拠問題集や『国語便覧』を活用し、作品の裏にある深いテーマに迫り、作品世界をより身近なものとして捉える。(予習)</p> <p>3. 小説は「あらすじ」を、説明文は「要約」を自らの力で行えるようにする。(復習)</p> <p>4. 『基礎の学習』の該当ページを解き、単元の理解を深める。(復習)</p> <p>【小テストについて】</p> <p>1. 漢字・文法・古語・語彙などの知識問題等に関して、適宜小テストを実施する。</p> <p>【課題について】</p> <p>1. 主に、長期休暇中に『新中学問題集』を課す。</p> <p>2. 上記以外にも課された課題は必ず提出すること。</p>

	1学期始め～1学期中間	1学期中間～1学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進度	<p>①【現代文】「初恋」「私」 【読書課題】「黄金風景」・「神様」(※現代文学名作選より)</p> <p>②【文法】古典文法(歴史的仮名遣い・品詞) 【古典】文学史・古典常識・古文読解(新中学問題集より)</p>	<p>①【現代文】「AIは哲学できるか」・「セメント樽の中の手紙」※ 【読書課題】「科学の扉をノックする」・「よだかの星」※</p> <p>②【文法】古典文法(動詞の活用/係り結び) 【古典】「和歌の調べ」他(暗唱含む)</p>	<p>①【現代文】「async-同期しないこと」「問いかける言葉」「薔薇のボタン」 【読書課題】「日本人はなぜキツネにだまされなくなったのか」・「沈黙」※</p> <p>②【文法】古典文法(用言) 【古典】「奥の細道」</p>	<p>①【現代文】「最後の一句」「青春の歌」他 【読書課題】「高瀬舟」「阿部一族」</p> <p>②【文法】古典文法(用言・副詞) 【古典】「奥の細道」他(暗唱含む)</p>	<p>①【現代文】「俳句の味わい」「故郷」他 【読書課題】「藤野先生」「狂人日記」・「おきみやげ」※</p> <p>②【文法】漢文基礎(訓点・書き下し文・再読文字) 【古典】「漢詩」(暗唱含む)</p>

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	<p>①社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けている。(現代文分野・古典分野)</p> <p>②日本の言語文化に対する理解を深めることができている。(現代文分野・古典分野)</p> <p>③日本の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができている。(古典分野)</p> <p>④読書に親しみ自己を向上させようという意識が見られる。(現代文分野)</p>	<p>授業内小テスト(漢字・語句・現代文単語・古文単語・古典文法・漢文句形・漢文語彙、書写等)</p> <p>定期考査</p>
思考力 判断力 表現力	<p>①論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力が伸長している。(現代文分野・古典分野)</p> <p>②他者(作品)との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができている。(現代文分野・古典分野)</p> <p>③論理的、批判的に考える力が伸長している。(現代文分野・古典分野)</p> <p>④創造的に考える力を養うことができている。(現代文分野・古典分野)</p> <p>⑤古典を通して先人のものの見方、感じ方、考え方の関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができている。(古典分野)</p>	<p>定期考査</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>①言葉がもつ価値に対する認識を深めようとしている。</p> <p>②読書に親しみ自己を向上させようという意識が見られる。</p> <p>③日本の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉をとおして他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。</p>	<p>課題(国語・書写・読書に関するもの含む)</p> <p>グループワークまたは個人ワーク</p>

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
中学3年	国語	書写	S特選 特選	1	中学校書写（教育出版）

教科・科目の概要と目標	学習方法と流れ
<p><b>概要</b> 書写では楷書、行書、仮名の基本技術を取得し、表現力、創造力を養います。</p> <p><b>目標</b> 1 書の楽しさ、美しさを体験し、表現力、創造力の向上を目指します。 2 楷書、行書、仮名の技法を取得し、目的に応じた表現をしましょう。 3 文字の美しさ、点や線、形、リズム、流れの美しさを理解し、表現しましょう。 4 古典を学習し、書の伝統的技法、芸術性を学びましょう。</p>	<p><b>学習の方法</b> 書写では、毛筆、硬筆により、楷書、行書、仮名の表現技法を学習します。</p> <p><b>学習の流れ</b> 1 授業は、単元課題の解説、鑑賞、説明、実技学習、練習、清書、評価の流れで展開します。 2 授業は、教科書、書道用具一式、鉛筆を用意してください。</p>

	1学期始め～1学期中間	1学期中間～1学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進度	1 毛筆 楷書「天地」 2 書体の相違（行書） 3 ひらがなの字形について	1 毛筆課題 基本字形と書体について 2 硬筆 行書課題  ～夏季休業中～ 藍桐祭作品制作	1 毛筆 藍桐祭作品制作 1 書写から書道へ	2 毛筆 創作「漢字と仮名」 3 毛筆 創作「自由課題」 4 硬筆 変化とリズム  ～冬季休業中～ 書初め制作	1 小筆 漢字仮名交じりの書 2 硬筆 日常生活における書

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識 技能	国語のシラバス参照	国語のシラバス参照
思考力 判断力 表現力	国語のシラバス参照	国語のシラバス参照
主体的に 学習に 取り組む 態度	国語のシラバス参照	国語のシラバス参照

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
中学3年	社会	公民	S特選	4	【教科書】新しい公民教科書(自由社) 新しい歴史教科書(自由社) 【副教材】資料集

教科・科目の概要と目標	学習方法と流れ
<p>【概要】地理・歴史で習ったことを土台として、現代の社会が抱える諸問題について考えます。時事問題を切り口として、さまざまな観点から考えるための知恵を身につけ、高等学校での学びへの橋渡しを行います。</p> <p>【目標】現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指します。国際社会におけるグローバルリーダーの育成に力を入れていきます。</p>	<p>詳細は各学期に担当者がガイダンスで説明します。(変更・修正の可能性もあります)</p> <p>【予習】確認テストで満点を取るための学習をします。映像授業を配信することもあります。</p> <p>【授業】教科書を使って解説しノートをとる一般的な授業のほか、アクティブラーニング型授業も行います。授業中には常に頭と手を動かして意欲的に参加することを求めます。</p> <p>【復習】授業ごとにノートをまとめ、自分の考えを文章で書き留めます。定期考査前にはノートや問題集を使い知識を定着させるだけでなく、その知識を用いてさらに深い思考をできるような学習をします。</p>

	1学期始め～1学期中間	1学期中間～1学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進度	<p>&lt;歴史分野&gt; 第5章 近代の日本と世界 (第2節 第二次世界大戦と日本)</p> <p>&lt;経済分野&gt; 第4章 国民生活と経済(第1節 豊かさを生む経済のしくみ)</p>	<p>&lt;歴史・公民の共通分野&gt; 第5章～第6章 近代の日本と世界 (敗戦～戦後復興～高度経済成長)</p> <p>&lt;経済分野&gt; 第4章 国民生活と経済(第1節 豊かさを生む経済のしくみ)</p>	<p>&lt;政治分野&gt; 第1章 個人と社会生活 第2章 立憲国家と国民</p> <p>&lt;経済分野&gt; 第4章 国民生活と経済(財政)</p>	<p>&lt;政治分野&gt; 第3章 日本国憲法と立憲民主政治 (第1節 日本国憲法の国家像) (第2節 議会制民主主義)</p> <p>&lt;国際分野&gt; 第4章 国民生活と経済(第2節 財政、第3節 社会保障) 第5章 国際社会に生きる日本</p>	<p>&lt;政治分野&gt; 第3章 日本国憲法と立憲民主政治 (第3節 三権のはたらき、第4節 地方公共団体のしくみと課題)</p> <p>&lt;国際分野&gt; 第5章 国際社会に生きる日本 終章 持続可能な社会を目指して</p>

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めているとともに、諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめている。	定期考査の得点・確認テストの得点 など
思考力 判断力 表現力	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題について公正に判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。民主主義がどのように政治の場に反映されているかなどについて、問題意識を持って考察を深めている。	定期考査の得点 授業ノート・ワークシートの取り組み状況・アクティブラーニングとその内容、課題等への取り組み など
主体的に学習に取り組む態度	現代の社会的事象について、国家及び社会の担い手として、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。	授業ノート・ワークシートの取り組み状況・アクティブラーニングとその内容、課題等への取り組み状況、発表授業における準備の状況や当日の状況とその内容 など

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
中学3年	社会	公民	特選	4	【教科書】新しい公民教科書(自由社) 新しい歴史教科書(自由社) 【副教材】資料集

教科・科目の概要と目標	学習方法と流れ
<p>【概要】地理・歴史で習ったことを土台として、現代の社会が抱える諸問題について考えます。時事問題を切り口として、さまざまな観点から考えるための知恵を身につけ、高等学校での学びへの橋渡しを行います。</p> <p>【目標】現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指します。国際社会におけるグローバルリーダーの育成に力を入れていきます。</p>	<p>詳細は各学期に担当者がガイダンスで説明します。(変更・修正の可能性もあります)</p> <p>【予習】確認テストで満点を取るための学習をします。映像授業を配信することもあります。</p> <p>【授業】教科書を使って解説しノートをとる一般的な授業のほか、アクティブラーニング型授業も行います。授業中には常に頭と手を動かして意欲的に参加することを求めます。</p> <p>【復習】授業ごとにノートをまとめ、自分の考えを文章で書き留めます。定期考査前にはノートや問題集を使い知識を定着させるだけでなく、その知識を用いてさらに深い思考をできるような学習をします。</p>

	1学期始め～1学期中間	1学期中間～1学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進度	<p>&lt;歴史分野&gt; 第5章 近代の日本と世界 (第2節 第二次世界大戦と日本)</p> <p>&lt;経済分野&gt; 第4章 国民生活と経済(第1節 豊かさを生む経済のしくみ)</p>	<p>&lt;歴史・公民の共通分野&gt; 第5章～第6章 現代の日本と世界 (敗戦～戦後復興～高度経済成長)</p> <p>&lt;経済分野&gt; 第4章 国民生活と経済(第1節 豊かさを生む経済のしくみ)</p>	<p>&lt;政治分野&gt; 第1章 個人と社会生活 第2章 立憲国家と国民</p> <p>&lt;経済分野&gt; 第4章 国民生活と経済(財政)</p>	<p>&lt;政治分野&gt; 第3章 日本国憲法と立憲民主政治 (第1節 日本国憲法の国家像) (第2節 議会制民主主義)</p> <p>&lt;国際分野&gt; 第4章 国民生活と経済(第2節 財政、第3節 社会保障) 第5章 国際社会に生きる日本</p>	<p>&lt;政治分野&gt; 第3章 日本国憲法と立憲民主政治 (第3節 三権のはたらき、第4節 地方公共団体のしくみと課題)</p> <p>&lt;国際分野&gt; 第5章 国際社会に生きる日本 終章 持続可能な社会を目指して</p>

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めているとともに、諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめている。	定期考査の得点・確認テストの得点 など
思考力 判断力 表現力	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題について公正に判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	定期考査の得点 授業ノート・ワークシートの取り組み状況・アクティブラーニングとその内容、課題等への取り組み など
主体的に学習に取り組む態度	現代の社会的事象について、国家及び社会の担い手として、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。	授業ノート・ワークシートの取り組み状況・アクティブラーニングとその内容、課題等への取り組み状況、発表授業における準備の状況や当日の状況とその内容 など

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
中学3年	数学	数学① 数学②	S特選	5	数学I(数研出版) 数学A(数研出版)

教科・科目の概要と目標	学習方法と流れ
<p>【数学I】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数と式</li> <li>・集合と命題</li> <li>・2次関数</li> <li>・図形と計量</li> </ul> <p>【数学A】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図形の性質</li> <li>・場合の数と確率</li> </ul>	<p>次のサイクルで授業を展開する。</p> <p>授業での解説(例題等) ⇒ 問題演習 ⇒ 小テスト・宿題</p> <p>教科書の内容を読む程度でも構わないので、授業前に予習をしておくこと。予習をした上で授業を聞いた方が、効率よく学習できる。そして、授業後に必ず復習すること。特に授業時に理解できたことは、定着しないまま忘れる可能性がある。そのことを踏まえて、問題を解くことで定着度の確認をすること。</p>

	1学期始め～1学期中間	1学期中間～1学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進度	<p>【数学①】</p> <p>数と式(数I)</p> <p>【数学②】</p> <p>場合の数と確率(数A)</p>	<p>【数学①】</p> <p>数と式(数I)</p> <p>集合と命題(数I)</p> <p>【数学②】</p> <p>場合の数と確率(数A)</p>	<p>【数学①】</p> <p>2次関数(数I)</p> <p>【数学②】</p> <p>図形の性質(数A)</p>	<p>【数学①】</p> <p>2次関数(数I)</p> <p>【数学②】</p> <p>図形の性質(数A)</p> <p>数学と人間の活動(数A)</p>	<p>【数学①】</p> <p>図形と計量(数I)</p> <p>【数学②】</p> <p>数学と人間の活動(数A)</p>

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各項目において基本的な計算や性質を理解することが出来る。</li> <li>・定義、定理の意味を理解することが出来る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト(基本問題)</li> <li>・小テスト</li> </ul>
思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各項目の基本事項を理解し、それを利用して、応用問題を解くことが出来る。</li> <li>・2次関数のにおいては、そのグラフを正確にかくことができる。</li> <li>・三角比を利用し、色々な図形の角度や辺の長さを求めることが出来る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト(応用問題)</li> <li>・小テスト</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習、授業、復習のサイクルを確立し、小テストや宿題において、理解が深まっていくような学習が出来ている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小テスト、確認テスト</li> <li>・提出課題など</li> </ul>

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
中学3年	数学	数学① 数学②	特選	5	数学I(数研出版) 数学A(数研出版)

教科・科目の概要と目標	学習方法と流れ
<p>【数学I】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数と式</li> <li>・集合と命題</li> <li>・2次関数</li> <li>・図形と計量</li> </ul> <p>【数学A】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図形の性質</li> <li>・場合の数と確率</li> </ul>	<p>次のサイクルで授業を展開する。</p> <p>授業での解説(例題等) ⇒ 問題演習 ⇒ 小テスト・宿題</p> <p>教科書の内容を読む程度でも構わないので、授業前に予習をしておくこと。予習をした上で授業を聞いた方が、効率よく学習できる。そして、授業後に必ず復習すること。特に授業時に理解できたことは、定着しないまま忘れる可能性がある。そのことを踏まえて、問題を解くことで定着度の確認をすること。</p>

	1学期始め～1学期中間	1学期中間～1学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進度	<p>【数学①】</p> <p>数と式(数I)</p> <p>【数学②】</p> <p>場合の数と確率(数A)</p>	<p>【数学①】</p> <p>数と式(数I)</p> <p>集合と命題(数I)</p> <p>【数学②】</p> <p>場合の数と確率(数A)</p>	<p>【数学①】</p> <p>2次関数(数I)</p> <p>【数学②】</p> <p>図形の性質(数A)</p>	<p>【数学①】</p> <p>2次関数(数I)</p> <p>【数学②】</p> <p>図形の性質(数A)</p> <p>数学と人間の活動(数A)</p>	<p>【数学①】</p> <p>図形と計量(数I)</p> <p>【数学②】</p> <p>数学と人間の活動(数A)</p>

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各項目において基本的な計算や性質を理解することが出来る。</li> <li>・定義、定理の意味を理解することが出来る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト(基本問題)</li> <li>・小テスト</li> </ul>
思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各項目の基本事項を理解し、それを利用して、応用問題を解くことが出来る。</li> <li>・2次関数のにおいては、そのグラフを正確にかくことができる。</li> <li>・三角比を利用し、色々な図形の角度や辺の長さを求めることが出来る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト(応用問題)</li> <li>・小テスト</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習、授業、復習のサイクルを確立し、小テストや宿題において、理解が深まっていくような学習が出来ている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小テスト、確認テスト</li> <li>・提出課題など</li> </ul>

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
中学3年	理科	理科① 理科②	S特選	4 理科① 3 理科② 1	理科の世界 3年 (大日本図書)、新編化学基礎(数研出版)、生物基礎(第一学習社)、セミナー化学基礎(第一学習社)プリント、セミナー生物基礎(第一学習社)

教科・科目の概要と目標	学習方法と流れ
<p>【概要】週4時間を第1分野3時間、第2分野1時間に分けて行います。第1分野では、実質的に高等学校の化学基礎の内容を学習します。第2分野では中2までの実験授業で扱えなかった中学理科の内容と高等学校の生物基礎の内容の一部を学習します。考査は1分野は年間5回(各学期中間、期末)、2分野は年間3回(各学期期末のみ)の実施となります。</p> <p>【目標】</p> <p>① 自然の事物、現象について、興味・関心を深める。</p> <p>② 観察・実験の基本操作を学び、科学的に調べる方法を身につけると同時に、それらの過程や結果をまとめ、発表する能力を養う。</p> <p>③ 自然事象について理解を深め、知識を身につけ、実力を高める。</p>	<p>① 基礎的な内容から発展的なものまで、科学の持つ法則性、物質の持つ共通性・特殊性を学習します。</p> <p>② 問題演習・実験を通して単元内容を考察しながら、実験技能の向上を図ります。また、大学入試において題材にされやすい実験も取り入れ、科学的な理解を深めるだけでなく、将来の入試に対応できる力も養成します。</p> <p>③ 学習内容、時期によっては、授業動画(オンデマンド教材)も活用します。</p>

	1学期始め～1学期中間	1学期中間～1学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進度	<p>[1分野]</p> <p>◆物質の構成(物質の分類、成分・物質の三態と熱運動)</p> <p>◆物質の構成粒子(原子とその構造・イオン・周期表)</p> <p>[2分野]</p> <p>◆生命のつながり①(細胞分裂、無性生殖)</p>	<p>[1分野]</p> <p>◆粒子の結合(イオン、共有、金属の各結合・分子間力)</p> <p>◆物質と化学反応式(原子量・分子量・式量)</p> <p>[2分野]</p> <p>◆生命のつながり②(減数分裂、有性生殖、メンデル遺伝)</p>	<p>[1分野]</p> <p>◆物質と化学反応式(物質・化学反応式)</p> <p>◆酸と塩基の反応(酸と塩基・水の電離と水溶液のpH)</p> <p>[2分野]</p> <p>◆動物の分類</p>	<p>[1分野]</p> <p>◆酸と塩基の反応(中和反応・塩)</p> <p>◆酸化還元反応(酸化と還元)</p> <p>[2分野]</p> <p>◆生物の進化と変遷</p>	<p>[1分野]</p> <p>◆酸化還元反応(酸化剤と還元剤・金属のイオン化傾向・電池・電気分解・金属の精錬)</p> <p>[2分野]</p> <p>◆自然界のつながり(生態系、物質循環、バイオーム)</p>

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	<p>◇自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。</p> <p>◇観察、実験の基本操作を習得するとともに、自然の事物・現象を科学的に探究する方法を身に付け、それらの過程や結果及びそこから導き出した自らの考えを的確に表現する。</p>	<p>◇定期考査の素点の一部</p> <p>◇小テスト・確認テストの点数</p> <p>◇実験・観察後の提出課題の評価</p> <p>※1分野と2分野の成績内訳は、単位数に応じて調整されます。</p>
思考力判断力表現力	<p>◇自然の事物・現象の中に問題を見だし、目的意識をもって観察、実験などを行うとともに、事象を実証、論理的に考えたり、分析的、総合的に考察したりして問題を解決する。</p>	<p>◇定期考査の素点の一部</p> <p>◇小テスト・確認テストの点数</p> <p>◇実験・観察後の提出課題の評価</p> <p>※1分野と2分野の成績内訳は、単位数に応じて調整されます。</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>◇自然の事物・現象に関心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに、事象を人間生活とのかかわりで見ようとする。</p>	<p>◇小テスト・確認テストの点数</p> <p>◇実験・観察後の提出課題の評価</p> <p>※1分野と2分野の成績内訳は、単位数に応じて調整されます。</p>

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
中学3年	理科	理科① 理科②	特選	4 理科① 3 理科② 1	理科の世界 3年 (大日本図書)、新編化学基礎(数研出版)、生物基礎(第一学習社)、標準セミナー化学基礎(第一学習社)プリント、セミナー生物基礎(第一学習社)

教科・科目の概要と目標	学習方法と流れ
<p>【概要】週4時間を第1分野3時間、第2分野1時間に分けて行います。第1分野では、実質的に高等学校の化学基礎の内容を学習します。第2分野では中2までの実験授業で扱えなかった中学理科の内容と高等学校の生物基礎の内容の一部を学習します。考査は1分野は年間5回(各学期中間、期末)、2分野は年間3回(各学期期末のみ)の実施となります。</p> <p>【目標】</p> <p>① 自然の事物、現象について、興味・関心を深める。</p> <p>② 観察・実験の基本操作を学び、科学的に調べる方法を身につけると同時に、それらの過程や結果をまとめ、発表する能力を養う。</p> <p>③ 自然事象について理解を深め、知識を身につけ、実力を高める。</p>	<p>① 基礎的な内容から発展的なものまで、科学の持つ法則性、物質の持つ共通性・特殊性を学習します。</p> <p>② 問題演習・実験を通して単元内容を考察しながら、実験技能の向上を図ります。また、大学入試において題材にされやすい実験も取り入れ、科学的な理解を深めるだけでなく、将来の入試に対応できる力も養成します。</p> <p>③ 学習内容、時期によっては、授業動画(オンデマンド教材)も活用します。</p>

	1学期始め～1学期中間	1学期中間～1学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進度	<p>[1分野]</p> <p>◆物質の構成(物質の分類、成分・物質の三態と熱運動)</p> <p>◆物質の構成粒子(原子とその構造・イオン・周期表)</p> <p>[2分野]</p> <p>◆生命のつながり①(細胞分裂、無性生殖)</p>	<p>[1分野]</p> <p>◆粒子の結合(イオン、共有、金属の各結合・分子間力)</p> <p>◆物質と化学反応式(原子量・分子量・式量)</p> <p>[2分野]</p> <p>◆生命のつながり②(減数分裂、有性生殖、メンデル遺伝)</p>	<p>[1分野]</p> <p>◆物質と化学反応式(物質・化学反応式)</p> <p>◆酸と塩基の反応(酸と塩基・水の電離と水溶液のpH)</p> <p>[2分野]</p> <p>◆動物の分類</p>	<p>[1分野]</p> <p>◆酸と塩基の反応(中和反応・塩)</p> <p>◆酸化還元反応(酸化と還元)</p> <p>[2分野]</p> <p>◆生物の進化と変遷</p>	<p>[1分野]</p> <p>◆酸化還元反応(酸化剤と還元剤・金属のイオン化傾向・電池・電気分解・金属の精錬)</p> <p>[2分野]</p> <p>◆自然界のつながり(生態系、物質循環、バイオーム)</p>

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	<p>◇自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。</p> <p>◇観察、実験の基本操作を習得するとともに、自然の事物・現象を科学的に探究する方法を身に付け、それらの過程や結果及びそこから導き出した自らの考えを的確に表現する。</p>	<p>◇定期考査の素点の一部</p> <p>◇小テスト・確認テストの点数</p> <p>◇実験・観察後の提出課題の評価</p> <p>※1分野と2分野の成績内訳は、単位数に応じて調整されます。</p>
思考力判断力表現力	<p>◇自然の事物・現象の中に問題を見だし、目的意識をもって観察、実験などを行うとともに、事象を実証、論理的に考えたり、分析的、総合的に考察したりして問題を解決する。</p>	<p>◇定期考査の素点の一部</p> <p>◇小テスト・確認テストの点数</p> <p>◇実験・観察後の提出課題の評価</p> <p>※1分野と2分野の成績内訳は、単位数に応じて調整されます。</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>◇自然の事物・現象に関心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに、事象を人間生活とのかかわりで見ようとする。</p>	<p>◇小テスト・確認テストの点数</p> <p>◇実験・観察後の提出課題の評価</p> <p>※1分野と2分野の成績内訳は、単位数に応じて調整されます。</p>

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
中学3年	音楽		S特選 特選	1	中学生の音楽 2・3下 ・中学器楽（教育芸術社） 音楽鑑賞資料集（正進社）

教科・科目の概要と目標	学習方法と流れ
<p>「体全体で『音』を『聴き』・『歌い』・『表現する』こと」の楽しさを体験する。そのことから技術を磨くことの必要性を理解し、自らさらに良いものを創り上げてゆく姿勢を養う。</p> <p>① 歌唱・器楽・鑑賞・・・それぞれに於いて、知識以上に「楽しみながら音楽すること」に重点をおきます。そして、「目には見えなくても、音楽のなかに存在する何か」を個々の感性にてつかめるようにします。</p> <p>② 合唱・・・他者とのささえ合いのなかで協力しあいながら音を出し、ハーモニーを作る喜びを分かち合います。</p>	<p>音楽室にて行います。</p> <p>課題・内容によって方法・流れは異なるため、その都度指示します。</p>

	1学期始め～1学期中間	1学期中間～1学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進度	歌唱:有節歌曲の表現を工夫しよう「花」 アルトリコーダー:複雑なアンサンブルをしよう 鑑賞:オーケストラの楽器を知ろう「ボレロ」 楽典	➔	歌唱:無伴奏で合唱しよう 鑑賞:オーケストラによる表現を学ぼう「ブルタバ」 楽典	➔	歌唱:詩と音楽の関わりを意識して合唱表現しよう 鑑賞:音楽の歴史を学ぼう 曲の良さを調べ、紹介しよう

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽を構成している要素（楽典・楽式・音楽史・楽曲に関する基礎知識等）を理解している。</li> <li>演奏に必要な発声や楽器の扱い、ソルフェージュカ等の基礎的な力を身に付けている。</li> </ul>	課題・内容により、「学期末考査」・「各課題終了後行う実技試験」・「提出物による理解度」をもとに総合的に評価する。
思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽史、楽曲に関する必要な基礎知識等を把握したうえで楽曲の鑑賞に取り組んでいる。</li> <li>対面している音楽に対し全面的に自己投入し、自己の持つ感性を開いて向き合い演奏及び鑑賞できる。</li> <li>演奏及び鑑賞において、自己を表現することができる。</li> </ul>	課題・内容により、「学期末考査」・「各課題終了後行う実技試験」・「提出物による理解度」・「鑑賞課題」終了後提出の「感想」をもとに総合的に評価する。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽に興味・関心を持ち音楽によって生活を明るく豊かなものにしようとする姿勢をもっている。</li> <li>対面している音楽に対し全面的に自己投入し、自己の持つ感性を開いて向き合う姿勢を持っている。</li> <li>授業で体験する内容について、その前と後の自己の変化（感じ方、技術等）に敏感に気づくことができる。</li> </ul>	「各回授業への取り組み」・「課題の提出状況及び内容」・「出席状況」から総合的に判断する。

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
中学3年	美術		S特選 特選	1	・美術 2・3 (光村図書) ・「美術資料 東京の美術」秀学社

教科・科目の概要と目標	学習方法と流れ
<p>表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指します。</p> <p>また生涯を通して作品制作や鑑賞活動を楽しむための基礎的な技法の習得を目指します。</p>	<p>1：題材の設定の趣旨説明 2：下書き、下絵の作成 3：制作 4：鑑賞</p>

	1学期始め～1学期中間	1学期中間～1学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進度	<ul style="list-style-type: none"> <li>●オリエンテーション</li> <li>●絵画「偶然から生む抽象画」</li> <li>・趣旨説明</li> <li>・モダンテクニック</li> <li>・アイデアスケッチ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●絵画「考えて描く抽象画」</li> <li>・下がき</li> <li>・制作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●絵画「抽象画」</li> <li>・制作</li> <li>・鑑賞 (文化祭「教科展示」に向けての準備)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●遠近法</li> <li>・趣旨説明</li> <li>・アイデアスケッチ</li> <li>・下がき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●遠近法</li> <li>・着彩</li> <li>・鑑賞</li> </ul>

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している</li> <li>・表現方法を工夫し、創造的に表している。</li> </ul>	作品及び提出物を基に評価する。
思考力 判断力 表現力	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し、構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	作品及び提出物を基に評価する。
主体的に学習に取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。	作品及び提出物の提出状況や、日々の授業に取り組む姿勢を基に評価する。

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
中学3年	保健体育		S特選 特選	3	中学校保健体育（大修館書店）

教科・科目の概要と目標	学習方法と流れ
<p>1. 運動技能・体力の向上、健康の増進、安全に対する知識・判断力を習得する。</p> <p>2. スポーツ大会を通してクラスの団結力を向上し、集団の中で果たすべき責任を全うする能力を身に付ける。</p> <p>3. 体育行事（TRF）を通して困難を前にたじろがない強い心を身に付ける。</p> <p>4. 器械運動では全身の巧緻性、平衡感覚、表現力を。陸上競技では全身の持久力、瞬発力を高める。</p> <p>5. 保健では、健康な生活と病気の予防に関することや、環境が健康に及ぼす影響について学ぶ。</p>	<p>・体育については、所定の場所（体育館・グラウンド・地下体育館）で実施する。※各種事情により取り扱う運動領域を変更する場合あり。</p> <p>・保健については教室で実施する。</p>

	1学期始め～1学期中間	1学期中間～1学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進度	体力テスト 集団行動 スポーツ大会練習 【保健】 感染症の予防と健康を守る 社会の取り組み	スポーツ大会練習 球技 【保健】 感染症の予防と健康を守る 社会の取り組み	体力テスト 球技 器械運動 【保健】 感染症の予防と健康を守る社会の取り組み 環境の健康への影響	球技 器械運動 【保健】 感染症の予防と健康を守る社会の取り組み 環境の健康への影響	球技 器械運動 持久走 【保健】 環境の健康への影響

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動の合理的な実践に関する基礎的な事項や生活における運動の意義を理解し、知識を身に付けている。また、各領域の運動の楽しさや喜びを味わうための基本的な技能を身に付けている。</li> <li>・健康な生活と疾病の予防および健康と環境について個人生活を中心として科学的に理解している。</li> </ul>	各学期末に所定の場所で行う実技テストで到達度を確認し、判断する。保健分野は考査の素点を基に判断する。
思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の能力に適した運動の課題の解決を目指して、活動の仕方を考え、工夫するとともに、それらを他者に伝えている。</li> <li>・健康な生活と疾病の予防について、個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともにそれらを他者に伝えている。</li> </ul>	・考査、授業への取り組み、授業内発表、提出物をもとに総合的に判断する。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら進んで運動を実践し、運動の楽しさや喜びを体得しようとする。また、共生の精神をもって他者とかかわるとともに、健康・安全に留意して積極的に学習に取り組んでいる。</li> <li>・健康な生活と疾病の予防について、個人の健康や安全に関心をもち、自主的に学習に取り組もうとする。</li> </ul>	・授業への取り組み、提出物、授業内発表についての自己評価及び相互評価をもって総合的に判断する。

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
中学3年	技術・家庭		S特選 特選	1	技術・家庭 家庭分野（開隆堂）

教科・科目の概要と目標	学習方法と流れ
<p><b>【概要】</b>                      中学1・2年で学んだことを復習しながら、さらに実生活に生きる知識を深め、日本文化についても学びます。</p> <p><b>【目標】</b></p> <p>①生活に必要な基礎的知識を身につける。                      ②知識を生活の中で活かす知恵を養う。                      ③知恵を実行できる技術を習得する。                      ④まわりの人と協力することができる。</p>	<p>① 授業には、教科書・ノート・配布プリントを準備して臨むこと。                      ② 実習の時には、一週間前に身支度・道具について連絡をしますので、忘れないこと。                      ③ 実習授業の評価は、授業中の取り組む姿勢が大きく影響します。</p>

	1学期始め～1学期中間	1学期中間～1学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進度	・日本の衣服文化を学ぶ	・日本の食文化を学ぶ ・日本の住文化を学ぶ ・被服製作（刺し子）	・被服製作（刺し子） ・消費生活と環境	・消費生活と環境	・幼児の生活と家族

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	生活や技術に関する基礎的な事項や生活と技術とのかかわりについて理解し、知識を身に付けている。また、生活に必要な基礎的な技術を身に付けている。	・学期末考査 ・製作した作品の完成度
思考力 判断力 表現力	授業を通して自分の生活について見直し、課題をみつけ、その解決を目指して自分なりに工夫し創造して表現できる。	・調べ学習およびその発表 ・レポート ・学年末考査
主体的に学習に取り組む態度	日々の生活関心をもち、生活を充実向上するために知識や技術を進んで身につけ実践しようとする意欲が見られる。	・製作した作品への意欲 ※期日に向けての計画性なども重視されます ・授業内発表についての自己評価と他者からの評価 ・提出物の状況

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
中学3年	英語	英語① 英語②	S特選	5	NEW TREASURE ENGLISH SERIES Stage 2 コーパスクラウン / Vintage 【S特】 Drive / 【特選】 Navigator SKYWARD 【OCEAN】 / 英検 / システム英熟語

教科・科目の概要と目標	学習方法と流れ
<p>1. 英語の基礎学力、英語を使う技能、英語を学ぶ視点を育成し、事実について伝えたり、物事について判断したことを理解し表現したりできるようにする。</p> <p>2. New TreasureのReadや SKYWARD 【OCEAN】 の長文を活用する。個々の能力に応じ、毎日英文に触れ、考える時間を持ち技能を高める。</p> <p>3. コーパスクラウン / Vintage やGRAMMAR TEXTBOOKなどを用いて、高校英文法を身に付ける。</p>	<p>英語①</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>教科書の単語・目標文や本文を確認し、音読を繰り返し練習する。</li> <li>宿題で授業内容を復習、練習する。</li> <li>単語テスト、暗唱・暗写テストで学習の成果を確認する。</li> </ol> <p>英語②</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>文法事項を確認する。</li> <li>問題集で繰り返し定着するまで練習する。</li> </ol>

	1学期始め～1学期中間	1学期中間～1学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進度	①New Treasure Lesson7 現在完了 Lesson8 名詞/不定代名詞/再帰代名詞 9後置修飾 Lesson10関係代名詞 ②GRAMMAR TEXTBOOK 17 代名詞 18 分詞 19 関係代名詞(主格) 20 関係代名詞(目的格) 21 分詞・関係代名詞の総整理	①Lesson11不定詞の発展的用法 Lesson12比較・間接疑問文・付加疑問文・感嘆文 ② 23 不定詞の発展用法(2) 25 いろいろな疑問文 26 間接疑問文 27 仮定法	①SKYWARD 【OCEAN】 Unit 1～6 ②コーパスクラウン (14～16コマ) 第1・2章 文の種類・動詞と句型 第3・4章 時制 ③Vintage or Drive 第17章 動詞の語法	①SKYWARD 【OCEAN】 Unit 7～12 ②コーパスクラウン (16～18コマ) 第5章 助動詞 第12章 仮定法 第6章 態 ③Vintage or Drive 第3章 助動詞 第4章 仮定法	①SKYWARD 【OCEAN】 Unit15～20 ②コーパスクラウン (16～18コマ) 第7章 不定詞 第8章 動名詞 第9章 分詞 ③Vintage or Drive 第5章 不定詞 第6章 動名詞

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	英語の音声や語彙・表現・文法・言語のはたらきなどを理解するとともに、これらの知識を「聞く」「読む」「話す」「書く」ことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けられているかに着目する。	定期考査及び授業内小テストやアクティビティ等
思考力判断力表現力	コミュニケーションをおこなう目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝えあったりすることができる力の涵養を図る。	定期考査及び授業内小テストやアクティビティ等
主体的に学習に取り組む態度	英語圏文化の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているかを見る。	授業内小テストやアクティビティ等

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
中学3年	英語	英語① 英語②	特選	5	NEW TREASURE ENGLISH SERIES Stage 2 コーパスクラウン / Vintage 【S特】 Drive / 【特選】 Navigator SKYWARD 【OCEAN】 / 英検 / システム英熟語

教科・科目の概要と目標	学習方法と流れ
<p>1. 英語の基礎学力、英語を使う技能、英語を学ぶ視点を育成し、事実について伝えたり、物事について判断したことを理解し表現したりできるようにする。</p> <p>2. New TreasureのReadや SKYWARD 【OCEAN】 の長文を活用する。個々の能力に応じ、毎日英文に触れ、考える時間を持ち技能を高める。</p> <p>3. コーパスクラウン / Vintage やGRAMMAR TEXTBOOKなどを用いて、高校英文法を身に付ける。</p>	<p>英語①</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>教科書の単語・目標文や本文を確認し、音読を繰り返し練習する。</li> <li>宿題で授業内容を復習する。</li> <li>単語テスト、暗唱・暗写テストで学習の成果を確認する。</li> </ol> <p>英語②</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>文法事項を確認する。</li> <li>問題集で繰り返し定着するまで練習する。</li> </ol>

	1学期始め～1学期中間	1学期中間～1学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進度	①New Treasure Lesson7 現在完了 Lesson8 名詞/不定代名詞/再帰代名詞 9後置修飾 Lesson10関係代名詞 ②GRAMMAR TEXTBOOK 17 代名詞 18 分詞 19 関係代名詞(主格) 20 関係代名詞(目的格) 21 分詞・関係代名詞の総整理	①Lesson11不定詞の発展的用法 Lesson12比較・間接疑問文・付加疑問文・感嘆文 ② 23 不定詞の発展用法(2) 25 いろいろな疑問文 26 間接疑問文 27 仮定法	①SKYWARD 【OCEAN】 Unit 1～6 ②コーパスクラウン (14～16コマ) 第1・2章 文の種類・動詞と句型 第3・4章 時制 ③Vintage or Drive 第17章 動詞の語法	①SKYWARD 【OCEAN】 Unit 7～12 ②コーパスクラウン (16～18コマ) 第5章 助動詞 第12章 仮定法 第6章 態 ③Vintage or Drive 第3章 助動詞 第4章 仮定法	①SKYWARD 【OCEAN】 Unit15～20 ②コーパスクラウン (16～18コマ) 第7章 不定詞 第8章 動名詞 第9章 分詞 ③Vintage or Drive 第5章 不定詞 第6章 動名詞

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	英語の音声や語彙・表現・文法・言語のはたらきなどを理解するとともに、これらの知識を「聞く」「読む」「話す」「書く」ことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けられているかに着目する。	定期考査及び授業内小テストやアクティビティ等
思考力判断力表現力	コミュニケーションをおこなう目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝えあったりすることができる力の涵養を図る。	定期考査及び授業内小テストやアクティビティ等
主体的に学習に取り組む態度	英語圏文化の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているかを見る。	授業内小テストやアクティビティ等

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
中学3年	英語	英語① 英語②	特選GL (α)	5	Q skills: R&W 3 コーパスクラウン / Vintage / Drive 速単上級編 システム英熟語

Course Objectives	Course description
<ul style="list-style-type: none"> <li>To complement the students language skills while at the same time helping them gain an understanding of the rich cultural diversity around the world.</li> <li>この授業では「読解力」にFOCUSします。大学入試レベルの、語彙的・英文構造的・内容的それぞれに難易度の高い英文を正確に読み解き、時には日本語に和訳してみるという作業を通して、総合的な英語力の向上を図ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Lessons will be presented using a variety of styles and techniques including the four skills of reading, writing, listening and speaking.</li> <li>予習→授業→復習 のサイクルをしっかりと確立させる。</li> <li>①予習：本文を読み、日本語に和訳する。</li> <li>②授業：解説を聞きながら、複雑な英文構造や重要な文法事項等については板書を取り、理解に努める。</li> <li>③復習：学習した英語は必ず音読して復習する。</li> </ul>

	1学期始め～1学期中間	1学期中間～1学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進度	Unit 3: Information Tech コーパスクラウン 第3・4章時制 第6章 態 Vintage / Drive 第1・2章 時制・態	Unit 5: Psychology コーパスクラウン 第5章 助動詞 第12章 仮定法 Vintage / Drive 第3・4章 助動詞・仮定法	Unit 6: Philosophy コーパスクラウン 第7～9章 不定詞～分詞 Vintage / Drive 第5～7章 不定詞～分詞	Unit 7: Economics コーパスクラウン 第11章 関係詞 第24章 接続詞 Vintage / Drive 第8～9章 関係詞・接続詞	Unit 8: Behavioral Studies コーパスクラウン 第23章 前置詞 第10章 比較 Vintage / Drive

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	外国語の音声や語彙・表現・文法・言語のはたらきなどを理解するとともに、これらの知識を「聞く」「読む」「話す」「書く」ことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けられているかに着目する。	授業内小テストやアクティビティ（音読・暗唱・英単語など）
思考力判断力表現力	コミュニケーションをおこなう目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝えあったりすることができる力の涵養を図る。	授業内小テストやアクティビティ（音読・暗唱・英単語など）
主体的に学習に取り組む態度	英語圏文化の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているかを見る。	授業内小テストやアクティビティ（音読・暗唱・英単語など）

学年	教科	科目	コース	単位数	使用教科書・副教材
中学3年	英語	英語① 英語②	特選GL (一般)	4	NEW TREASURE ENGLISH SERIES Stage 2、GRAMMAR TEXTBOOK GRAMMAR WORKBOOK、Lentrance コーパスクラウン / Vintage / Drive 速単上級編 システム英熟語

教科・科目の概要と目標	学習方法と流れ
<p>1. 英語の基礎学力、英語を使う技能、英語を学ぶ視点を育成し、事実について伝えたり、物事について判断したことを理解し表現したりできるようにする。</p> <p>2. New TreasureのReadやSKYWARD【OCEAN】の長文を活用する。個々の能力に応じ、毎日英文に触れ、考える時間を持ち技能を高める。</p> <p>3. コーパスクラウン / Vintage やGRAMMAR TEXTBOOKなどを用いて、高校英文法を身に付ける。</p>	<p>授業の予習復習について 予習→授業→復習 のサイクルをしっかりと確立させる。</p> <p>①予習：本文を読み、意味の分からない単語は辞書で調べながら、日本語に和訳する。</p> <p>②授業：解説を聞きながら、複雑な英文構造や重要な文法事項等については板書を取り、理解に努める。</p> <p>③復習：学習した英語は必ず音読して復習する。「週100回、年に3500回の音読」が目標。</p>

	1学期始め～1学期中間	1学期中間～1学期期末	2学期始め～2学期中間	2学期中間～2学期期末	3学期始め～3学期期末
1年間の授業の進度	①New Treasure Lesson7 現在完了 Lesson8 名詞/不定代名詞/再帰代名詞 9後置修飾 Lesson10関係代名詞 ②GRAMMAR TEXTBOOK 17 代名詞 18 分詞 19 関係代名詞(主格) 20 関係代名詞(目的格) 21 分詞・関係代名詞の総整理	①Lesson11不定詞の発展的用法 Lesson12比較・間接疑問文・付加疑問文・感嘆文 ② 23 不定詞の発展用法(2) 25 いろいろな疑問文 26 間接疑問文 27 仮定法	①SKYWARD【OCEAN】 Unit 1～6 ②コーパスクラウン (14～16コマ) 第1・2章 文の種類・動詞と文型 第3・4章 時制 ③Vintage or Drive 第17章 動詞の語法 第1章時制【動idiomP260-287】	①SKYWARD【OCEAN】 Unit 7～12 ②コーパスクラウン (16～18コマ) 第5章 助動詞 第12章 仮定法 第6章 態 ③Vintage or Drive 第3章 助動詞 第4章 仮定法 第2章 態【動idiomP288-403】	①SKYWARD【OCEAN】 Unit15～20 ②コーパスクラウン (16～18コマ) 第7章 不定詞 第8章 動名詞 第9章 分詞 ③Vintage or Drive 第5章 不定詞 第6章 動名詞 第7章 分詞【動idiomP404-419】

観点別評価	評価の観点	評価の方法
知識技能	英語の音声や語彙・表現・文法・言語のはたらきなどを理解するとともに、これらの知識を「聞く」「読む」「話す」「書く」ことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けられているかに着目する。	定期考査及び授業内小テストやアクティビティ等
思考力判断力表現力	コミュニケーションをおこなう目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝えあったりすることができる力の涵養を図る。	定期考査及び授業内小テストやアクティビティ等
主体的に学習に取り組む態度	英語圏文化の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているかを見る。	授業内小テストやアクティビティ等